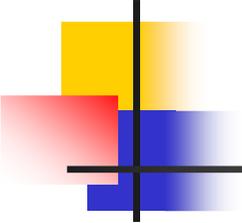


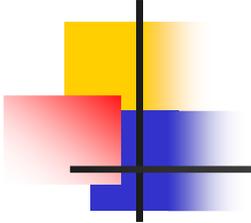
第2回長岡市・川口町任意合併協議会

川口町の財政状況について



財政危機の要因

- ホテル・温泉等の公共投資による起債の増加
- 震災復旧経費の一時的な増加
- 短期の下水道整備による繰出金の増加
- 国の普通交付税の削減



ホテル・温泉等の公共投資

- 5施設の総事業費約41億円、うち起債は約 28億円

施設名	オープン	総事業費(億円)	起債(億円)
えちご川口温泉	H17年	24.3	18.6
ホテルサンローラ	H19年 (復旧後)	10.9	6.8
古民家	H15年	2.1	1.1
あぐりの里	H16年	1.7	0
交流体験館 「杜のかたらい」	H12年	2.3	1.7
計		41.3	28.2

中越大震災の復旧経費

- 地方債29.3億円、一般財源29.9億円 (H16~H19)

災害復旧経費の内訳

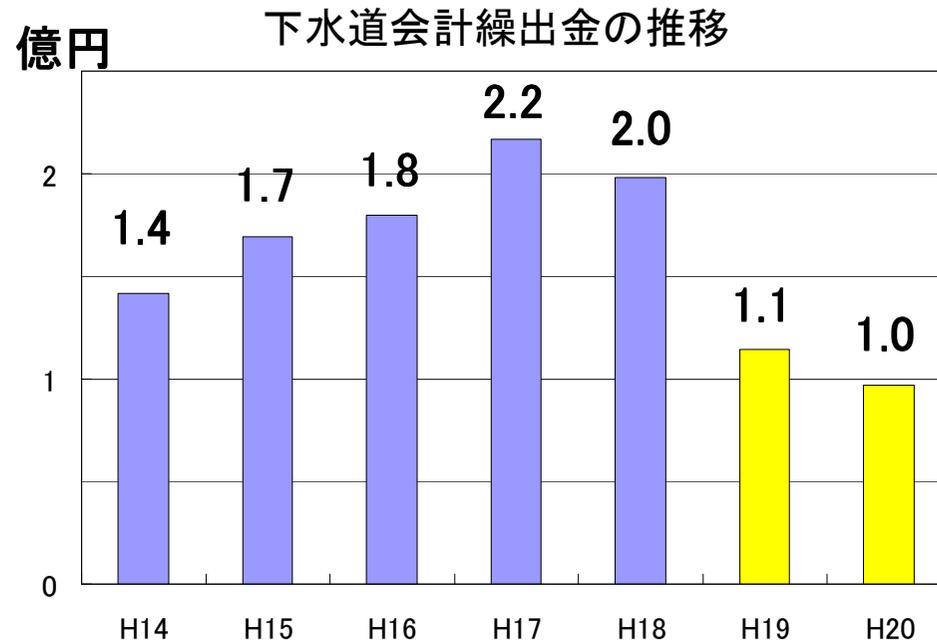
(単位:億円)

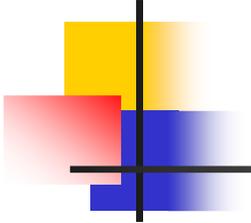
会計	総事業費	財源内訳			
		国・県補助金	地方債	受益者負担金等	町支出額
一般会計	130.0	79.3	20.5	1.9	28.3
特別会計	35.1	19.7	8.8	5.0	1.6
合計	165.1	99.0	29.3	6.9	29.9

- 災害復旧債は95%~85.5%の交付税措置
 - 町の支出額は多くが特別交付税で補てん
支出額29.9億円に対し、19年度までに27.4億円が特別交付税で措置
- ⇒町の実質負担額は約2.5億円

下水道会計繰出金の推移

- 短期間の集中的な下水道整備により、借入金の返済に充てる繰出金が増加(下水道普及率は約98%)
- 平成19年度の料金改定以降は低い水準で推移





行財政改革の取り組み

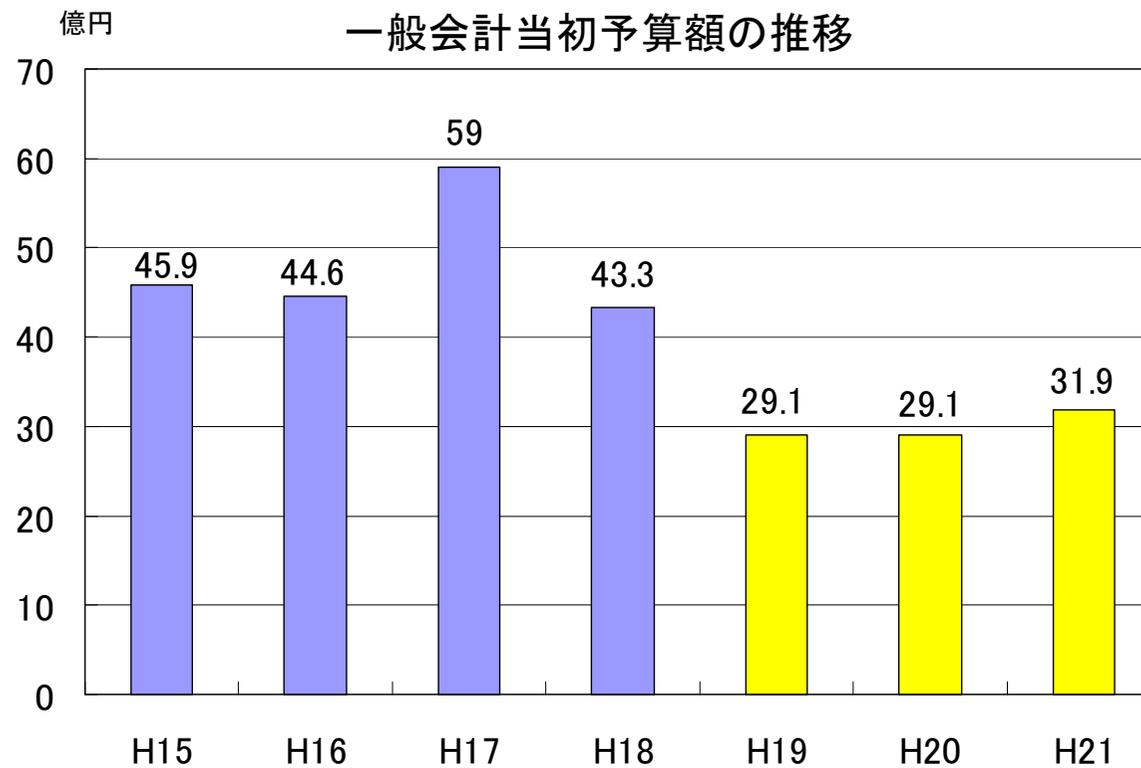
- 行財政改革により、20年度末で基金を約**14億円**確保 ⇒ **財政危機を回避**

これまでの主な取り組み

- ① **投資的経費の大幅削減**
(新規事業抑制、事業見直しで緊縮予算を編成)
- ② **職員数及び人件費の削減**
(特別職報酬、職員の期末勤勉手当の削減等)
- ③ **議員定数及び議員報酬の削減**
- ④ **公共料金の改定**(水道・下水道・ごみ処理料を1世帯年間61,500円値上げ)
- ⑤ **指定管理者制度の導入**

一般会計予算の推移

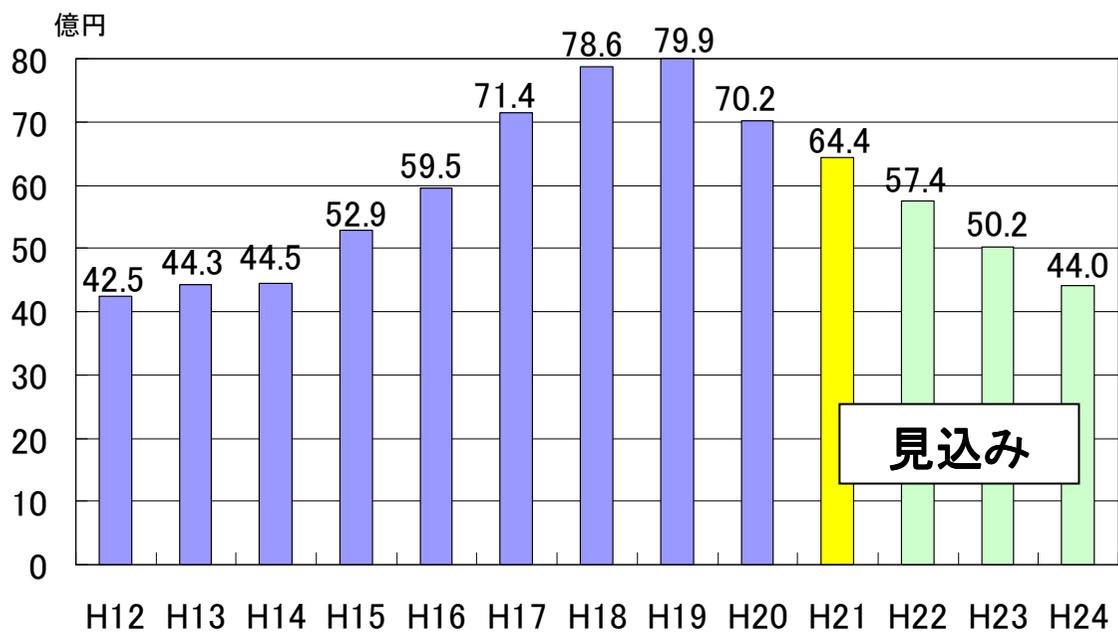
- 19年度以降は、標準的な財政規模を堅持



地方債残高の推移

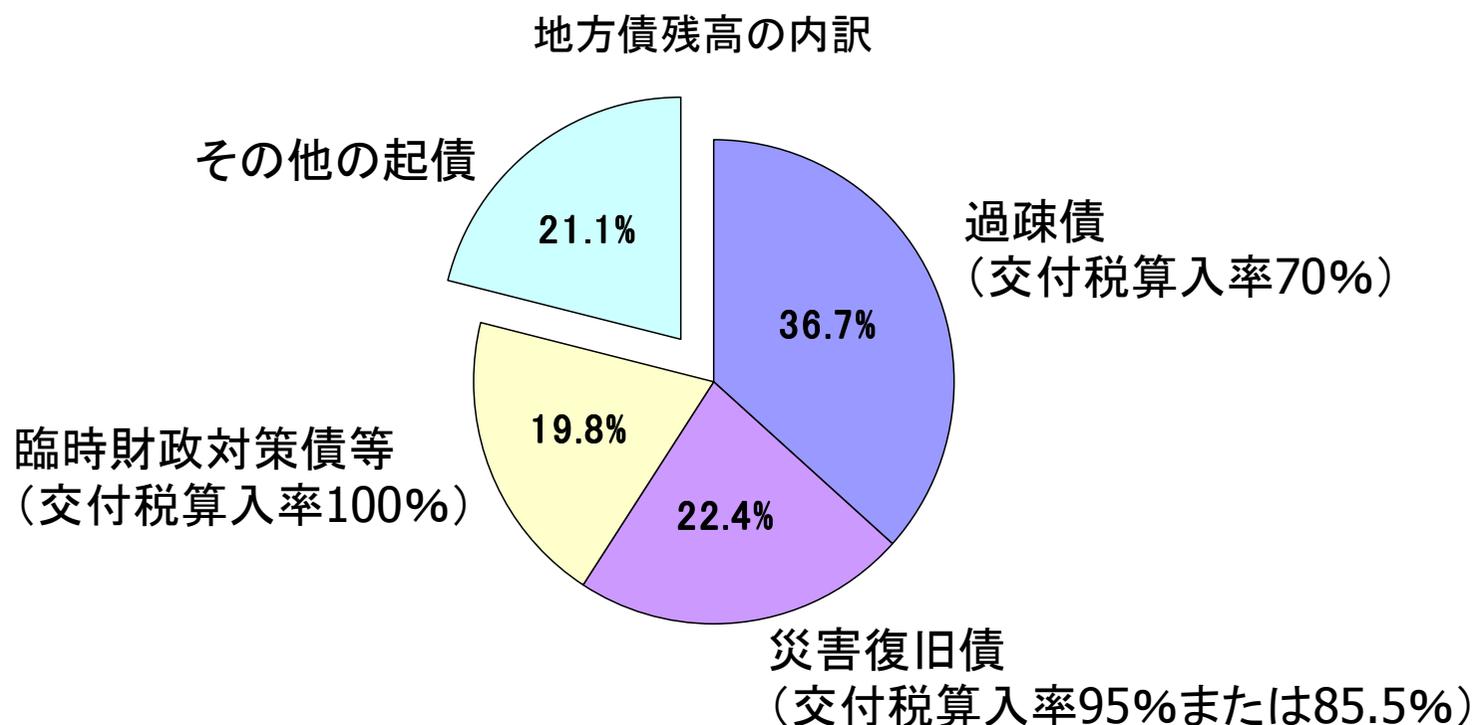
- 新たな起債の抑制、積極的な繰上償還により、地方債残高は着実に減少

地方債残高(一般会計)の推移



川口町の地方債の特徴

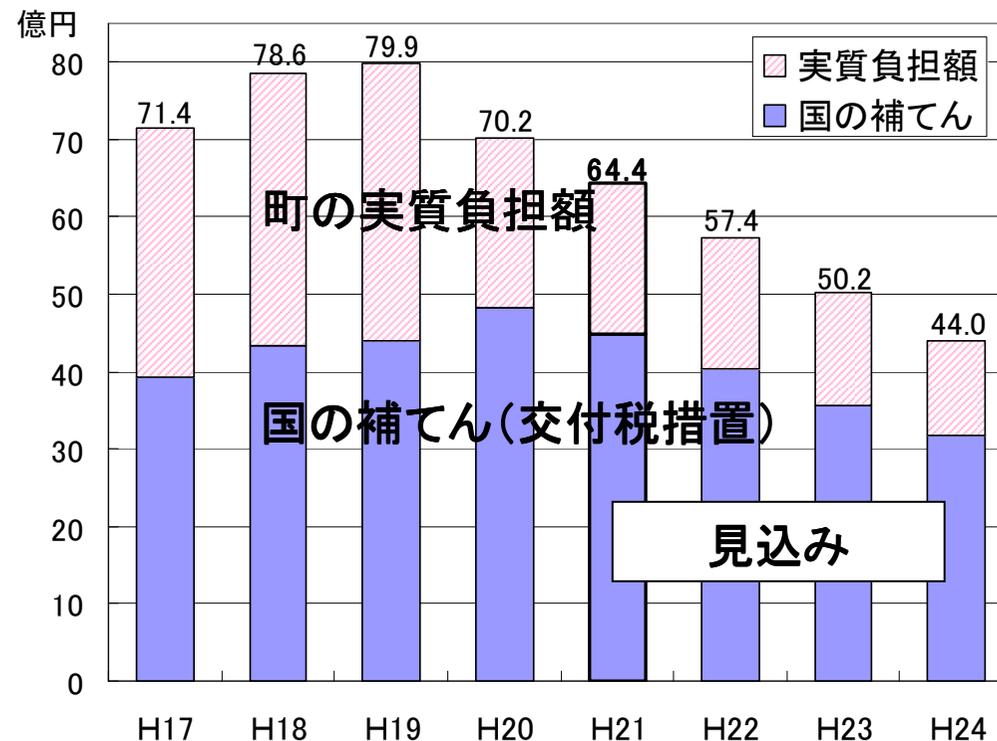
- 交付税算入（国からの補てん）率の高い起債が多く、21年度末では約8割が交付税算入率70%以上の起債



地方債の実質負担額

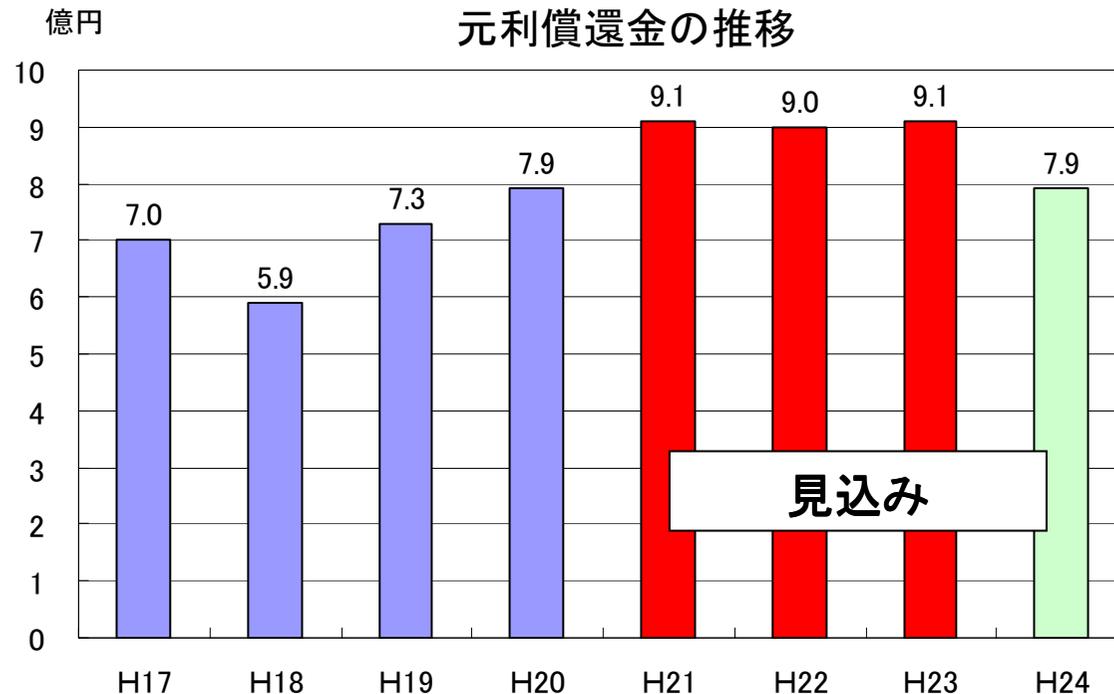
- 21年度末の地方債残高約64億円のうち、約7割の額が国から補てんされるため、町の実質負担額は約20億円

地方債残高の推移と実質負担額



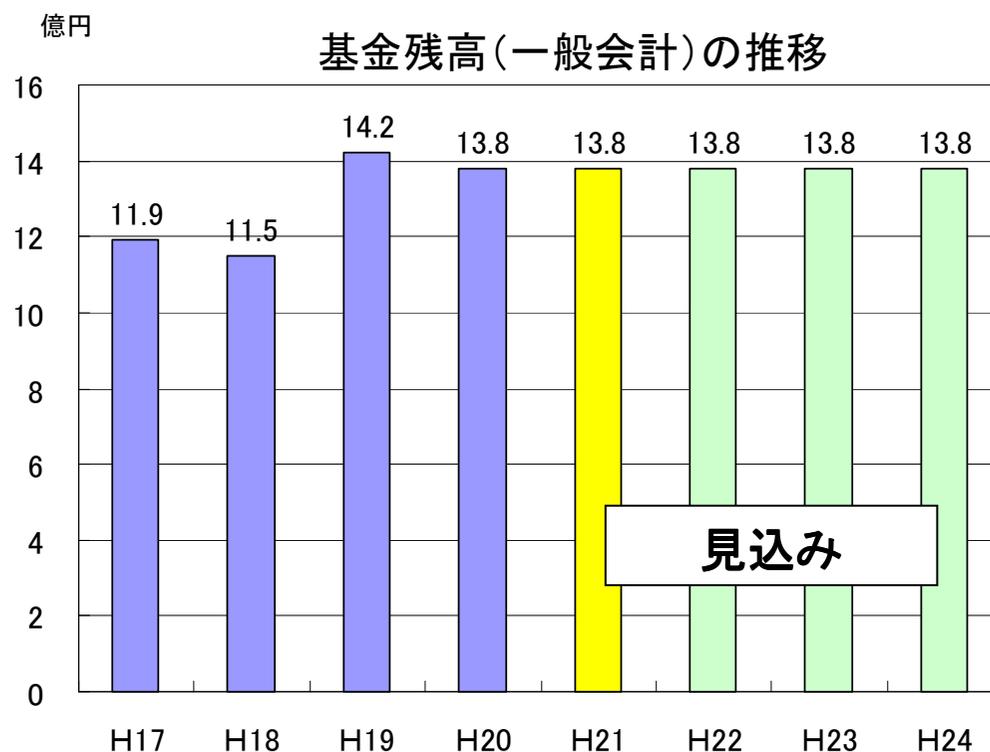
元利償還金の推移

- 平成21年度から公債費のピーク。町単独では引き続き、投資的経費の抑制が必要。



基金残高の推移

- 20年度末で約**14億円**の基金を確保。
21年度予算も基金を取り崩さずに編成。

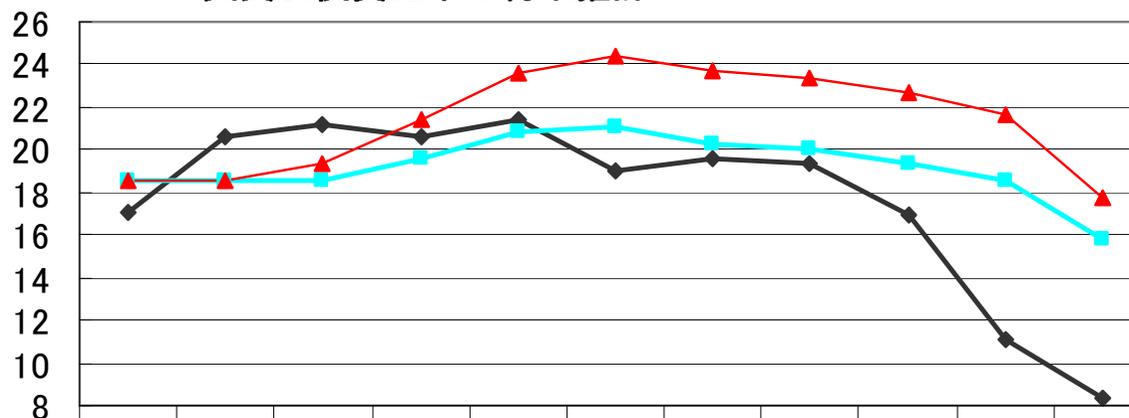


実質公債費比率の推移

- 地方債の繰上償還により、実質公債費比率のピーク(23年度)が、24.4%から21.1%に改善。

⇒ 早期健全化基準(25%)への到達は回避

実質公債費比率の将来推計

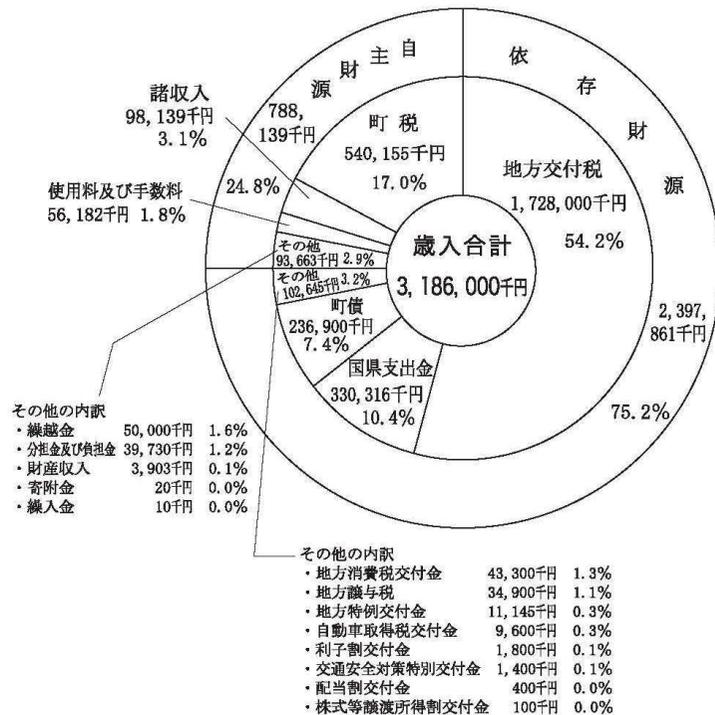


	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
◆ 単年度	17.1	20.6	21.2	20.6	21.4	19.0	19.6	19.3	16.9	11.1	8.3
■ 3ヶ年度の平均	18.5	18.6	18.6	19.6	20.8	21.1	20.3	20.0	19.3	18.6	15.8
▲ 当初の見込み(3ヶ年平均)	18.5	18.6	19.3	21.4	23.6	24.4	23.7	23.4	22.7	21.7	17.8

21年度予算の概要

■ 財政健全化を最優先に予算を編成

歳入財源別構成



歳出性質別構成

